

駐車場(6:00) 取り付き(7:00) ピーク(11:00) 赤倉山(12:30) 深沢(13:30) 深沢出合(14:00)

始まりは2014年の6月、創立記念行事の翌日。

いつもの駐車場から北に見上げると、凛々しい岩峰が目に入る。居合わせた数名であの岩峰は登れるのか？という話になり、フワフワした雰囲気のまま岩峰に続く尾根を偵察に行く。近付くと治山工事用の階段が設置されていて、入り口には柵がされていた。これでは入山できない。スゴスゴと退散する。

後日、世間様に迷惑の掛からないルートから登ろうということで、岩峰直下のキャン沢から取りつく計画となる。こんな奇特的な山行にお付き合いいただけるのは、当会随一の変わり者である上小牧さんに他ならない。毎度のことながら感謝であります。

想定してきたルートは岩峰の南東側、遠目には比較的傾斜の緩く見えるリッジだ。一部にぶっ立っているセクションが有るようにもみえるが何とかなるだろう。キャン沢を小一時間ほど詰めて岩峰の基部に着く。上小牧さんから、常に敗退の準備を出来るように諭され、心して登攀を開始する。

* (奇数ピッチ：上小牧、偶数ピッチ：小濱)

1P：目前のフェースの溝状を左上、右上。30m III級

2P：易しいスラブを右にトラバース後、フェースを直上。ランアウト気味。45m III級-

3P：記憶無。40m くらい

4P：歩きからフェースを直上、一段登ると垂壁に当たる。リッジの向こう側(松木沢側)は斜度があり、岩も脆そう。右上するが一手悪い。40m III級

5P：藪を突っ切って、眼前のフェースを直上。岩も固く気持ちが良いピッチ。25m III級-

6P：右に少しトラバースしてフェースを直上。一段登ってうす被りを左に逃げる。今日初めて松木川側にリッジを跨ぐと、下が切れ落ちていて高度感が増す。これを超えてピークへ。25m 3級+

7P：ピークから赤倉山の稜線に続くザレたリッジを歩く。一部が脆い岩と砂で緊張する。樹林帯に入ると安全圏。

景色や地図を眺めて、気になる場所に行ってみたくするのは人間の性(サガ)だと思う。そこが未だ誰も踏み入ったことのない場所ならなおさらだ。子供のような冒険心を大切に持っている上小牧さんと自分に感謝。おかげで楽しい山行ができています。次はどこにいこうかな！



車道から目的の岩峰を臨む



キャン沢を詰める



取り付けるかな？



ピークからの歩き